

# 技の Topics

## フロアコンテナ・システムキッチン 「クリンレディ」

キッチンに対する想いは人それぞれ。

そこで、3つのスタイルをベースに

さまざまなキッチンのカタチを提案します。

「料理をつくるよろこび」を満たす

クリンレディのある暮らしをイメージしてください。



Stainless System Kitchen

### じっくり愉しむ

最高の空間としてのキッチンは、最高の料理道具としての役割も果たします。



### 共に過ごす

家族や夫婦で楽しむ時間は、きっと毎日のパワーの源になるはず。

### 颯爽とこなす

たくさんのサポート機能が、効率よくおいしい料理を仕上げます。

## くつろぎプラン

家族の笑顔が集まったら、くつろぎの時間がはじまる。



お話ししながら料理ができると、とっても楽しいね。

1段高くしたデッキ部は水ぬれしにくい「ドライゾーン」。キッチンの前の居心地が良いと、家族みんなが集まりたくなります。

くつろぎテーブルは、みんなのお気に入り。



リビング側に設置できる「くつろぎテーブル」。軽食やティータイム、さらに読書などライフスタイルに応じて自由に活用できます。

今日は何を読もうかな？



「くつろぎテーブル」の横にはマガジンラック。家族みんなのお気に入りの一冊などのほか、料理ブックやレシピ集を入れてもOK。

## わいわいプラン

みんなでわいわいつくった料理だから、もっともっとおいしい。



向かい合ってお手伝い。自然に笑顔がこぼれます。

ダイニング側まで大きく開いた「両面スワンシンク」。水栓をシンクのちょうど中央部に配置しているため、みんなでキッチンを囲んで調理ができます。使ったあともサッとお手入れができて片づけることができます。一緒につくると料理がおいしい。そんな楽しいキッチンです。

カトラリーを出すのだって、自慢です。



サポートデッキの下には、取り出しやすい「カトラリートレー」を設置。料理と配膳それぞれの作業を同時に効率よくできるよう、細かなところにも配慮しています。

さいごの仕上げもにぎやかに。



「サポートデッキ」は一段高くなっているため、シンクで作業していても水がかかりにくく、ドライエリアとして最適。パスタなど粉を扱う作業から、仕上げの盛り付けまで、料理の幅を広げます。

## 究極の道具箱 ツールコンテナ

クリンレディに標準搭載された「ツールコンテナ」は、収納しているものを目で確認できる引き出しタイプの新収納。さまざまな場所に収納していた調理道具を、一カ所にまとめて収納できます。



シンク下ワイヤーラック



ざる・ボウル収納スペース



ツールボックス

### ● ツールコンテナから広がる ● キッチン新しい可能性 ●

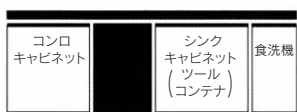
シンク下に調理道具をまとめて収納できる「ツールコンテナ」によって、これまで収納として使用していたスペースが空き、自由に活用できるようになりました。



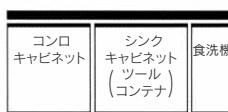
キッチンツールをコンロキャビネット、シンクキャビネットに集めて収納



新たな有効スペース ▲ ツールコンテナ搭載



間口そのまま、機能を高める。自分の料理スタイルに合わせ、お好みの機能キャビネットが追加できます。



機能はそのままコンパクトにする。高い基本機能をキープしながら間口をコンパクトにすることができます。

## どれが好み？ キッチン空間スタイルの選び方

キッチン空間スタイルには、主にオープンスタイル、クローズスタイル、セミオープンスタイル、対面式などがあります。どのタイプにも長所・短所はあるものです。左記を参考に、自分だけのキッチン空間スタイルを選びましょう。

### ● オープンスタイル

**メリット** 作業する人にとっては働きやすいタイプ。家族とのコミュニケーションがとりやすい。

**デメリット** 仕切りがないので煙やにおいが回りやすく、室内空気の汚れ、換気対策への配慮が必要。

### ● クローズスタイル

**メリット** キッチンでの煙や音、汚れ物などに気を遣う必要がない。

**デメリット** 家族とのコミュニケーションが多少とりにくくなる。

### ● セミオープンスタイル(セミクローズスタイル)

**メリット** 下がり壁やドアを付けることでオープンな雰囲気を保ちつつ、料理の手元やキッチン内の複雑な部分を隠すことができます。また煙やにおいの問題も解決できます。

